

有限会社福栄建設 環境行動計画

取組方針

有限会社福栄建設は、当社の経営理念である『地域社会への貢献』をモットーに、顧客ニーズにあった建設工事業を営んでいます。

当社の活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、自然環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 工事部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 適切な資源（水・紙）の利用

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成24年 9 月18日

有限会社 福栄建設

代表取締役 福江 泰子

3. 環境負荷の低減目標

平成25年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成23年度です。）

【目標1】二酸化炭素の総排出量を2%削減する。

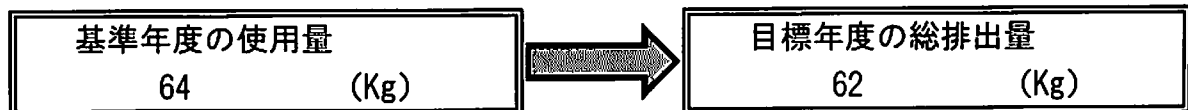


【目標2】産業廃棄物の総排出量を2%削減する。



なお、一般廃棄物については、適正な管理と削減に努め、数値目標については今後検討する。

【目標3】コピー用紙の使用量を2%削減する。



【目標4】水使用量を2%削減する。



4. 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】二酸化炭素総排出量の削減

（事務部門での取組）

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 電球型蛍光灯、LED照明等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ③ 事務職員のクールビズ・ウォームビズの実施
- ④ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ⑤ 使用していない電気機器の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑥ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

（工事部門での取組）

- ① エコドライブに取り組む。（アイドリングストップ、ふんわりアクセル）
- ② 車両・重機の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。
- ⑤ 現場に行く際の必要機材、持ち物の確認を徹底する。

【取組2】廃棄物搬出量の削減

- ① ファイル、ホルダーなどは繰り返し使用する。
- ② 使用済みのダンボール、空き缶、ペットボトル等は最寄りのリサイクルセンターへ搬入しリサイクル化を図る。
- ③ 新しい製品カタログ等は可能な限りインターネットでダウンロードする。
- ④ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑤ 洗剤など詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑥ 紙のリサイクルに努める。
- ⑦ コンビニエンスストアで購入した弁当等の廃棄物は、購入した店で処分する。
- ⑧ 建設資材、道具等は丁寧に扱い、できるだけ長期間使用する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 見積及び積算等の資料はUSBメモリー、メール等で入手し、二画面表示のパソコンを使用して、不必要な資料のプリントを避ける。
- ③ 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ④ コピー機のスタートボタンを押す前に、必ず設定状況を確認し、ミスコピーの削減に努める。
- ⑤ 会議資料等の削減に努める。（資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー）
- ⑥ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

【取組4】水の使用量の削減

- ① 水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ② 効率的な水の利用に取り組む。
- ③ 節水に努める。
- ④ 洗車用ホースに手元コックを取り付ける。
- ⑤ 事務所トイレの小便洗浄はレバーで水量を調節して流す。
- ⑥ 洗面所、台所に節水を呼び掛ける標語シールを掲示する。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、工事部長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全社員が「具体的な取組」を実行します。